

放送文化基金研究報告シンポジウム

ラジオ放送とレコードの関わり

～ 戦時下の音の記録・AK盤 ～



Network of Historical Recordings Collection

COMMUNITY / DATABASE / RESEARCH

2023年2月18日(土) 14:00～16:30
九州大学総合研究博物館310教室

参加費|無料・要事前申込
受付人数|①対面参加 30名 ②オンライン参加 70名※
参加方法|下記QRコードより専用フォームにて受付
受付期間|2月10日(金)まで

《プログラム》

I. 歴史的音源所蔵機関ネットワークによるAK盤の研究

大久保 真利子 / 九州大学総合研究博物館専門研究員

II. コロムビアにおけるAK盤音源とレコード化について

斉藤 徹 / 日本コロムビア(株) A&C本部 スタジオ技術部 マネージャーアーカイビング担当

III. 時局とAK盤 — 放送100年にむけて —

夫馬 直実 / NHKプロジェクトセンター NHKスペシャル班 ディレクター

IV. ラジオ欄に見るレコード使用放送の変遷

毛利 真人 / 音楽評論家

主 催|歴史的音源所蔵機関ネットワーク(レキレコ)

共 催|九州大学総合研究博物館
東洋音楽学会西日本支部

〈お問合せ先〉

歴史的音源所蔵機関ネットワーク事務局
rekireco@gmail.com

※②オンライン参加の方はZoomもしくは、
YouTubeでのご視聴となります。

要事前申込



お申込はこちら